

事務事業名		特定疾患福祉手当給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					事業区分	担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり						担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	2 日常生活支援の充実						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	4121	一般	3	1	2	特定疾患福祉手当給付事業		任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和49年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市特定疾患福祉手当支給条例、佐野市特定疾患福祉手当支給条例施行規則		実施方法	直営			
								事業分類	現金・現物給付事業			
								リーディングプロジェクト	該当なし			
								市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
原因不明で、治療方法が確立されていない難病に罹患した方に対し、月額3,500円の手当を支給する。支給月 年3回(4月、8月、12月)申請 → 内容審査 → 支給決定 → 支給	事業概要と同様。 平成26年度実績 小児慢性特定疾患者 100人、1,146月 特定疾患者 711人、8,111月 計 811人、9,257月						
平成26年12月までは国の特定疾患56種、県単独特定疾患2種、小児慢性特定疾患11疾患群の計69疾患だった。難病医療法施行により国の指定難病等に変更があるため、佐野市としての給付対象疾患を定め、従前対象者のみに給付できるよう平成27年1月1日に規則を改正。	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	受給者数	人	790	811	850	850	850
	支給月数	月	9,075	9,257	9,700	9,700	9,700

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野市が定める疾患に罹患している方。 指定難病 70疾病 小児慢性特定疾患 13疾患群 計83種	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	佐野市が定める疾病に罹患している方	人	790	811	850	850	850

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

難病に罹患している方の福祉の増進。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	適正に審査し、支給した人数 / 特定疾患罹患患者数	%	100	100	100	100	100

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自立した日常生活が送れる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	日常生活用具及び補装具費等受給者数	件	2,687	2,704	2,800	2,850	2,900

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	31,763		32,400		33,936		33,936		33,936	
	事業費計(A)	千円	31,763		32,400		33,936		33,936		33,936	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			特定疾患福祉手当	31,763	特定疾患福祉手当	32,400	特定疾患福祉手当	33,936	特定疾患福祉手当	33,936	特定疾患福祉手当	33,936
	人件費	人	1		1		1		1		1	
	のべ業務時間	時間	350		350		350		350		350	
人件費計(B)	千円	1,362		1,379		1,379		1,379		1,379		
トータルコスト(A)+(B)	千円	33,125		33,779		35,315		35,315		35,315		

事務事業名	特定疾患福祉手当給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	原因不明で治療方法が確立していない難病に罹患した方に対し、手当を支給、福祉の増進を図る。昭和49年に開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成15年度の県の特定疾患治療研究事業実施要領の一部改正により、特定疾患の軽快者に対する見直し及び公費負担額の変更。また、平成17年度に小児慢性特定疾患治療研究事業実施要綱が制定され、61疾患を見直し、平成20年度には市単独20疾患について受給資格をなくすなど、見直しを続けている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(コストの見直し)	平成27年1月から難病医療法が施行になり、対象疾患に大幅な見直しが行われたが、具体的な対象者数等不明な部分があり、これまでと同じ対象者に給付することにした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	特定疾病に罹患している方に対して手当を支給することは、特定疾患の方が安心した生活が送れ社会参加と自立を促すため、意図は結果に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	特定疾病に罹患している方は、医療費の支払いに不安を感じており、手当を支給することにより特定疾患の方が安心した生活が送れる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市特定疾患福祉手当支給条例施行規則で定める対象者を手当対象としているため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	成果指標は十分に達成されているため、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	平成27年度中に特定疾病や患者数などを考察し、1人当たりの手当金額等、事業の見直しを検討する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	手当を支給するものであり、受給者負担を求める性格のものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
難病に罹患している方に対して手当を支給することは、対象者が安心した生活を送るうえで廃止できない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
やり方改善(コストの見直し)(効率性⑥の結果) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
平成27年度には特定疾病や患者数などを考察し、1人あたりの手当金額等、事業の見直し必要。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					